

## 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

### 大学全体

建学の精神「自由、愛、正義」の下、豊かな人間性を備え、現代的課題への対応能力、問題解決能力を有する者に次の学位を授与する。

1. 専門分野における学術の理論と応用を修得し、知的道徳的に円満な教養を有する者に対し学士の学位を授与する。
2. 専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を有する者に対し修士の学位を授与する。
3. 専攻分野における研究者・技術者・高度専門職業人として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力、柔軟な応用能力及びその基礎となる豊かな学識を有する者に対し博士の学位を授与する。

### 経営情報科学研究科 修士（経営情報科学）

学則に定める期間在学し、所定の単位を修得して、修士論文の審査及び学力試験に合格すること。さらに、以下に掲げる素養を持つことを求める。

1. 産業界のビジネス諸問題に対抗できる得る経営情報科学の高度な専門的学識を有し、論理的思考力と優れた問題解決ができ得る能力を有していること。さらには豊かな人間性も兼ね備えることを求める。
2. 博士前期課程で培ってきた専門知識、研究成果等を社会に還元するための、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が十分備わっていること。
3. 基礎の理解力に根ざした応用力、問題解決能力が養われていること。さらに、諸問題の解決のために、協調性と高い倫理観をもって自ら行動することができること。

### 経営情報科学研究科 博士（経営情報科学）

学則に定める期間在学し、所定の単位を修得して、博士論文の審査及び学力試験に合格すること。さらに、以下に掲げる素養を持つことを求める。

1. 長期的視点に立ってビジネス社会の未来を進化・変革でき、学術発展に寄与し得ること。
2. 研究者、高度専門職業人として高度な研究能力と問題解決能力を有して自立して研究を発展指導できること。
3. 国際性に深い関心をもち、外国語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を備えていること。

## 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

### 大学全体

教育のモットー「創造と人間性」の下、「ものづくり教育」を通しての人間形成を目的とし、更に学際化、国際化に対応するため、コミュニケーション能力を有し、社会の変化に適応できる高度な専門知識を持った人材を養成するために次の教育課程を編成する。

1. 学部教育においては、社会的要求に応えるカリキュラムの編成と基礎学力向上、総合的教養教育及び各学科各専攻の特徴と専門性に基づき、社会や技術の発展に貢献し、創造と人間性を加味した技術者の養成を目的とした教育課程を編成する。
2. 大学院教育においては、知識基盤社会への対応のため、博士前期課程及び博士後期課程では、各専攻の特徴と専門性に基づき、分析能力や問題解決能力を有し、自立して研究の発展に取り組む高度な技術者、研究者の養成を目的とした教育課程を編成する。

### 経営情報科学研究科

博士前期課程において経営情報科学の高度職業人の養成を可能にし、高度学研を志向する者には、博士後期課程にて自立した研究指導者を養成することを目的とし教育課程を編成する。前期課程では基礎的で全般的な専門科目を多く配置し、後期課程では専門的な研究能力を向上させるための研究演習を重点的に配置し、学術論文作成と研究会や学会で報告し得る能力を育成するための教育課程を配する。

## 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

### 大学全体

確かな学識と豊かな人間性を合せ持ち、かつ優れたコミュニケーション能力を備えた人材を育成するため、一定の基礎学力、専門知識、学習意欲、生活習慣等を有し、その成長が期待でき、次の素養を持つ学生を受け入れる。

1. 本学の建学の精神に対する理解、共感
2. 自主的に学ぶ意欲
3. 知的好奇心と柔軟な思考力
4. 社会に貢献しようとする強固な意思
5. 困難な状況を克服しようとするチャレンジ精神

このような入学者を選抜するため、多様な入試を実施する。

### 経営情報科学研究科 博士前期課程

#### <経営情報科学専攻>

経営学、情報科学などの基礎学力を修得し豊かな人間性を持ち、優れたコミュニケーション能力を備え、学習意欲の旺盛な人を受入れる。また、国際社会に貢献する意欲のある人

### 経営情報科学研究科 博士後期課程

#### <経営情報科学専攻>

修士学位の専門学識を有し、国際的コミュニケーション能力が高く、国際社会に貢献する意欲のある人

経営情報科学の研究意欲が旺盛で、将来、自立して研究活動を持続して行うことができる人を受入れる。